



へいわをつくろう！

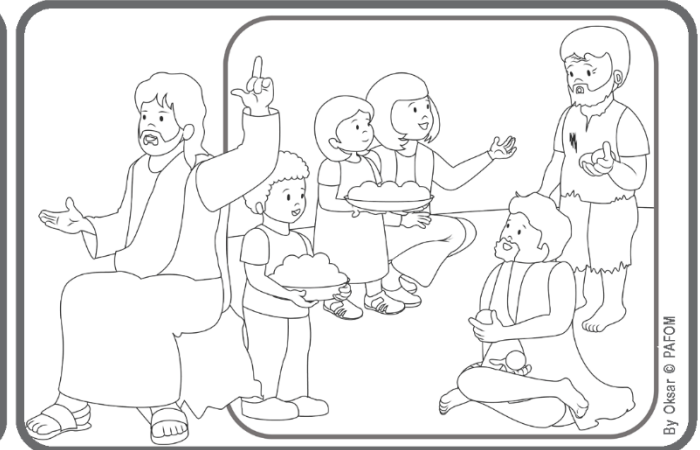
へいわをじつげんするひとびとは、さいわいである、
そのひとたちはかみのことよばれる。
(マタイ 5・9)



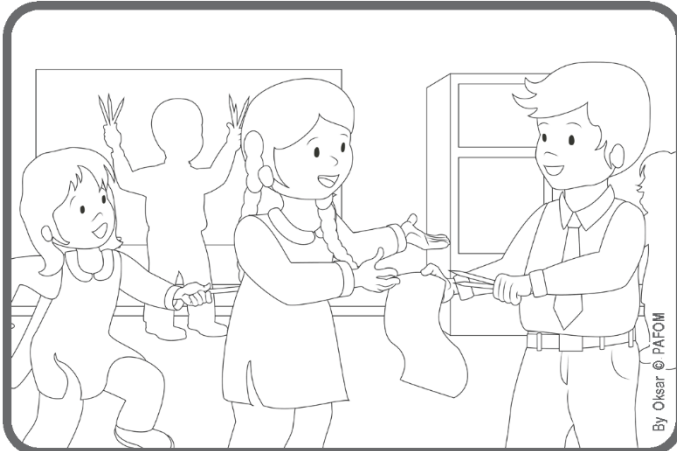
イエスさまのまわりには、たくさんのひとが あつまりました。イエスさまは、さらにたかいところに のぼりました。「ほんとうのしあわせ」について はなしたかったのです。でも、それは みんなが かんがえていたこととはちがいました。



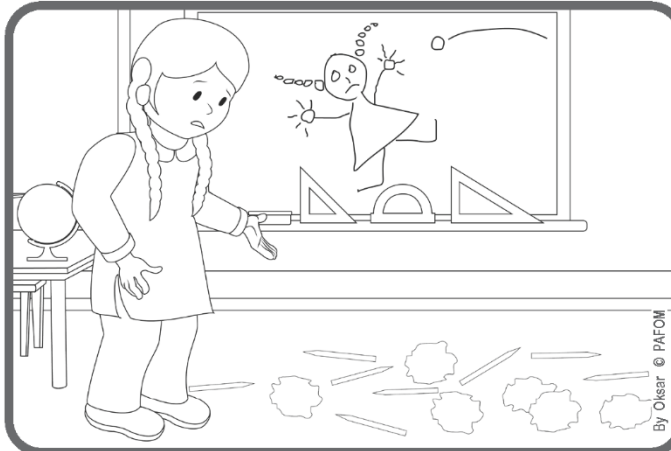
そのころのひとたちは、「おかねやものをたくさんもっていること」が しあわせだと おもっていました。だから おかねもちのひとたちは、びんぼうなひとを あまり たすけませんでした。けれども、イエスさまは いいます。



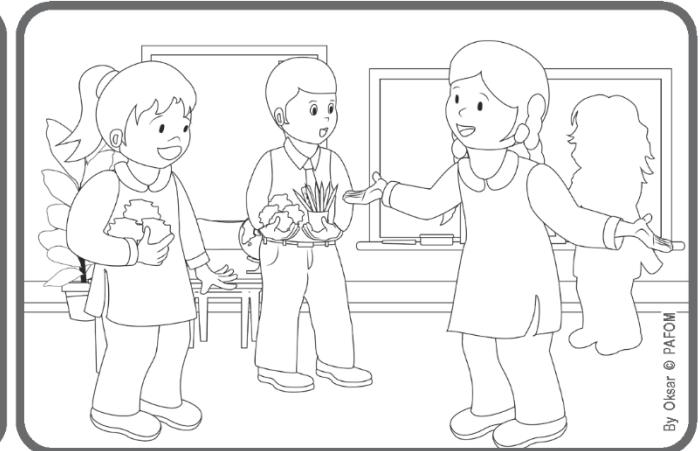
「ほんとうに しあわせなひととは、こころが やさしくて、ただしいことを しようとするひとです。こまっているひとを たすけて、けんかをせず、へいわをつくるひとです。」そのひとは、かみさまに しゅくふくされて、「かみのこ」とよばれるでしょう。



あるひ、パキスタンのサミナのがっこうでは、さいごの じゅぎょうは ずこうでした。みんなは すこしづかれています。なんにんかのこどもたちは、あそびはじめて、きょうしつを ちらかしてしまいました。



サミナは かなしいきもちになりました。せんせいは そのとき いまそんでしたが、すぐにもどってきそうでした。サミナは みんなに「やめようよ」と いいました。



でも、みんなは はんたいして けんかになりそうでした。サミナは もっとかなしいきもちになりました。それでも、たたかわずに みんなをあいするようになりました。すると すこしづつ きょうしつに へいわが もどり、みんなが あやまってくれました。みんなが また ともだちになれて、サミナも みんなもう うれしいきもちになりました。